

### 5.3 交通事業者等への聞き取り調査

#### (1) 交通事業者

飯能市地域公共交通対策協議会等の場において、バス事業者をはじめ市内交通事業者と運行状況等に関する情報共有、意見交換を行っています。市内交通事業者の運行状況及び運行における問題点について以下にまとめました。

#### 1) 人口減少等による収入の減少

##### ① 沿線の人口減少等による影響

沿線の人口減少や少子化の進行により、路線バスをはじめ公共交通の利用者は減少しており、一部路線では今後の維持が難しい状況に陥っています。

##### ② 生活形態による影響

市内の移動状況については、バス路線沿線であっても主に自家用車により移動がされており、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛やその後の生活様式の変容により、さらに公共交通の利用が低下している状況です。

##### ③ 貸切運送収入の不安定化

バス事業者が経営基盤維持のために兼業している貸切運送が、近年、発注者や競合事業者の状況により不安定化しており、特に大きな輸送契約の場合、事業経営にも大きく影響を及ぼすおそれがあります。

#### 2) 燃料費の高騰による経費増大

バス・タクシーの運行において、コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響により運行経費が増大しています。

#### 3) 運転士の不足による供給力の低下

少子化等による影響で、バス・タクシーをはじめとした公共交通の運転手が不足しており、加えて労働基準改善告示の改正もなされると、交通事業者における供給力不足がさらに強く懸念される状況です。

#### 4) 現行運賃水準維持の困難化

上記1)～3)の構造的な課題は全国各地でも生じているため、バス・タクシーなどの公共交通の運賃は全国的に値上げ傾向にありますが、市内交通事業者においても例外ではない状況です。

※国際興業(株)においては、令和5年3月16日付けで埼玉県内の一般路線バスの運賃値上げを実施しました。